

手話言語 フェス inなかの

会場
2026 9/22・23 中野区役所 本庁舎1階

参加
無料

事前
申込制



(抽選結果は8/25までに応募者全員に
メールでご連絡します)

9月23日は「手話の日」「手話言語の国際デー」
子どもから大人まで、だれでも楽しく参加できる
手話イベントを開催します

当イベントへの参加は
抽選となります

【応募期間】7/13~8/15

こちらの二次元コードから、詳細
をご確認の上お申込みください。

9/22
火 国民の休日

仲間と協力してヒントを集め、
「手話のまち」で謎解きしよう!!
手話×脱出ゲーム

異言語空間への招待状

IGENGO Lab. 手話×謎解き

“異言語空間への招待状”異言語Lab.

対象 区内在住・在学・在勤の方のご家族の
小学4年生~中学3年生 90組
(1組あたり2~4名/保護者の参加可)



わくわくドキドキ
不思議な体験をしよう!

入れ替え制/各回30組

〈第1回〉10:00~12:00

〈第2回〉13:00~15:00

〈第3回〉15:00~17:00

(10分前までに受付集合)

※一時保育利用可
(抽選2名)

クリア後に景品GET
(数に限りがあります。)



9/23
水 秋分の日

手話×映画&トークショー

〈開催時間〉13:30~16:00 (受付13:00開始)

第1部 映画上映

「ぼくが生きてる、
ふたつの世界」

対象 区内在住、在勤、在学 100名

作家・エッセイストの五十嵐大氏による自伝的エッセイ
「ろうの両親から生まれたぼくが聴こえる世界と聴こえない世界を
行き来して考えた30のこと」を映画化
吉沢亮が主演を務め、きこえない母ときこえる息子が
織りなす物語を繊細なタッチで描いたものがたり

第2部 映画出演者(母役)

忍足亜希子氏トークショー

※手話通訳、要約筆記、一時保育利用可(抽選2名)



(2024年製作、配給:ギャガ、上映時間105分)

主催:中野区/問い合わせ先:NPO法人中野区聴覚障害者情報活動センター(委託)

(中野区中野5-68-7 スマイルなかの5階) E-mail nakanosyuwagengomatsuri@gmail.com

詳細は
裏面へ

手話言語フェス in なかの 2026 9/22[※]-9/23[※]

9/22^{1 DAY}
※ 国民の休日

手話×脱出ゲーム 「異言語空間への招待状」



異言語空間への招待状
ISENBO Lab. 手話×謎解き

この世には、たくさんの言語が存在する。
自分の使っていない言語を異言語という。
異言語空間への招待状は、新たな世界の扉を開ける鍵となっている。
貴方の手元にある招待状は、どんな世界へ繋がっているのだろう。

日本語と手話で隠されたなぞを
一緒に解き明かし扉を開けよう!

本イベントでは、LINEアプリを使用します。
インターネットに接続できる端末をご用意ください。
(通信費は参加者の方の負担となります)

① まず、音声のない空間で
20分くらい手話を学ぶよ
音声がないから、手話を
よく見てね



② 手話を学んだら、さあ、
異言語の世界へ探検開始だ
「手話のまち」をめぐりながら
謎解きをしよう



③ 謎解きクリアで
最後の扉が
開けられるよ!



9/23^{2 DAY}
※ 秋分の日

手話×映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」 トークショー



忍足亜希子氏
プロフィール

(おしだり あきこ) 1970年生まれ 北海道出身
1999年に公開された映画「アイ・ラブ・ユー」で日本初のろう者の主演俳優としてオーディションで選ばれ俳優デビュー。その後も映画や舞台に出演の他、講演会、手話教室開催、執筆活動など多岐に渡り活躍中。
2024年9月公開、映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」で第38回高崎映画祭、第98回キネマ旬報ベストテンなどで「助演女優賞」を受賞。

申し込み方法

- こちらのイベントは、お子さんだけの参加も可能です。
- 「異言語脱出ゲーム」と「映画&トークショー」の両方を申し込みいただけます。
- 「異言語脱出ゲーム」の時間は、第2希望まで選択が可能です。
- 応募は1人につき、1回限りです。
代表者と参加者を変えて、申し込みするのはおやめください。
- 詳細はホームページでご確認ください。

【応募期間】7/13~8/15

【当選発表】8/25まで 当選、落選に関わらず、8月25日(火)までにメールにて応募者全員にお知らせします。

詳細はこちら



9/22・9/23の両日
国連や世界ろう連盟のロゴ色で
世界平和を表す青色に本庁舎を
ライトアップします



2020年4月1日に「中野区手話言語条例」が施行されました。
この条例には、中野区民、事業者、中野区などが、手話を言語として
尊重し、区内に広げていく責務を負うことが明記されています。

「中野区手話言語条例」
全文はこちら→

